

令和7年度(第77回)

東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会秋季総会並びに研究協議会（青森大会） 実施報告書

事 項	内 容
事 業 名	令和7年度(第77回) 東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 秋季総会並びに研究協議会（青森大会）
期 日	令和7年10月23日（木）～24日（金）
開催場所	八戸プラザホテル
主 催	東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会
後 援	青森県教育委員会、青森県高等学校長会、青森県高等学校定時制通信制教育振興会 公益財団法人日本教育公務員弘済会青森支部、NHK青森放送局・NHK出版
参 加 者	66名（来賓4名、分科会助言者5名、東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会加 盟校教職員53名、大会主管校教員4名）
参 加 費	4,000円／人
実施目的	高等学校通信制教育において、東北・北海道実施校相互の理解と認識を深め、現在及び 将来における種々の問題に関する研究協議を行う。
実施内容	<令和7年10月23日（木）> 1 開会式（13:00～13:25） 2 総 会（13:30～14:00） ・事業中間報告、中間決算報告、令和9年度全通研宮城大会実施要項（案） ・全通研より情報提供（全通研事務局長 小宮山英明 様） 3 分科会研究協議（14:10～16:30） ○第1分科会（教育課程・学習指導） ・発表1 本校の現状と増加する生徒への対応について 北海道有朋高等学校 教諭 山科晶裕 先生 ・発表2 本校における生徒数の急激な増加への対応について 秋田県立秋田明德館高等学校 教諭 山科あさか 先生 ・司会者 岩手県立宮古高等学校 副校長 鈴木里香 先生 ・助言者 青森県教育庁学校教育課 指導主事 大居高広 様 ○第2分科会（進路指導） ・発表1 本校の進路指導について 青森県立尾上総合高等学校 教諭 白川萌那 先生 ・発表2 霞城学園高等学校通信制における進路支援の在り方 山形県立霞城学園高等学校 教諭 國井大地 先生 ・司会者 山形県立庄内総合高等学校 教頭 伊藤泰司 先生 ・助言者 青森県教育庁学校教育課 指導主事 村元直記 様 ○第3分科会（生徒指導） ・発表1 知って繋がる全国生徒会活動 ～変化値を高める学び～ 星槎国際高等学校 教諭 山本佳世 先生・稲毛春佳 先生 ・発表2 美田園高校における生徒指導部の取組 宮城県美田園高等学校 教諭 佐々木健裕 先生 ・司会者 福島県立郡山萌世高等学校 教頭 田中巨文 先生 ・助言者 青森県教育庁学校教育課 指導主事 斗沢慎一郎 様 ○第4分科会（放送教育） ・協議内容「放送視聴利用促進における課題と改善策について」 ・司会者 岩手県立杜陵高等学校 副校長 吉田英男 先生 ・助言者 NHKコンテンツ制作局 第1制作センター教育・次世代 チーフ・ディレクター 津川明久 様 NHKエデュケーショナル コンテンツ制作開発センター 教育部 専任部長 櫛田 晃 様 全通研放送教育研究委員（東京都立砂川高等学校主任教諭） 山口信雄 様

事項	内 容
実施内容	<令和7年10月24日（金）> 4 研究協議会 全体会（9：00～10：00） ・1～4分科会司会者から、発表内容と研究協議についての報告 ・全通研報告並びに本大会の所感（全通研事務局長 小宮山英明 様） 5 先進事例発表（10：10～11：40） 「通信制での「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取り組み」 神奈川県立横浜修悠館高等学校 副校長 堀内 昌之 様 教諭 坂井 一郎 様 教諭 室井 佑太 様 6 閉会式（11：40～12：00）
成 果	・研究協議の1～3分科会において通信制課程における諸課題について、発表校の取り組みについて説明され、質疑応答を含めた研究協議が行われた。そして最後に助言をいただいた。 ・第4分科会（放送教育）においては、前半に北海道芸術高校（放送教育の研究指定校）より中間発表と杜陵高校の事例報告を行い、後半で放送視聴利用促進に向けたグループワークを行い、最後に助言者より助言および情報提供をいただいた。 ・先進事例発表では、『通信制での「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取り組み』と題して、学校紹介では、学習は講座（平日と休日）と学習支援プログラムで展開されていること、生徒支援では、架け橋教室、トライ教室、レポート作成講座、悠ルーム設置、様々な相談体制（SC、SSW、SCC、メンター登録、精神科医との相談会など）、生徒の居場所カフェの設置、学校生活アンケートの活用に取り組んでいることを説明された。この体制のもとで、生徒の学習を支援する取り組みとして、横浜修悠館マイページの運用、レポート作成支援、オンラインレポートを実施している。さらに、レポートやスクーリングでは、生徒の視点での改善と協働的な学びにつなげる工夫について、取り組んだ説明がとても参考になる有益なものでした。 ・2日間を通して有意義な研究協議等が実施でき、参加者の資質・能力を向上させることができたと思われる。